

取扱説明書 初版

epWORKS

コードレス電動工具

振動ドライバドリル EP-DD-281



用途

木材・金属の穴あけ

コンクリート・レンガ等の穴あけ

ネジの締付け・取外し

目次

はじめに	3	お手入れの仕方	22
安全上のご注意	3	お手入れ	22
製品を長くご愛顧いただくために	3	保管	22
安全にお使いいただくために	4	故障かな?と思ったら	23
コードレス電動工具にかかる安全事項	4	消耗品・部品一覧	23
コードレス電動工具の作業にかかる安全事項	5	保証内容について	24
バッテリーパック・充電器に係る安全事項	6		
振動ドライバドリルの使用上のご注意	7		
主要諸元	8		
振動障害の防止	8		
梱包部品一覧	9		
各部の名称	10		
準備	11		
充電の仕方	11		
組立て	12		
ベルトフックの取付け	12		
補助ハンドルの取付け・取外し	12		
先端工具の取付け・取外し	13		
取扱い	14		
バッテリーパックの取付け / 取外し	14		
トリガー（スイッチ）の操作	14		
LED ライト	14		
正転・逆転の切替え	15		
回転数の切替え	15		
作業モードの切替え	16		
トルクの調整	16		
操作の仕方	17		
ネジ締め作業	17		
手締め作業	18		
木材の穴あけ作業	19		
金属の穴あけ作業	20		
コンクリートなどの穴あけ作業	20		
作業の終了	21		

はじめに

このたびはコードレス電動工具をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。また故障に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために



取扱説明書に従った正しい取扱いや定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。



安全にお使いいただくために

コードレス電動工具にかかる安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">指定された用途以外に使用しないでください。事故の原因になります。改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、単独の使用をしないでください電動工具、充電器、バッテリーパックは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電や発煙の恐れがあります。可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電をしないでください。爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。作業員以外、電動工具、バッテリーや充電器のコードに触れさせないでください。事故の原因になります。作業員以外、作業場へ近づけないでください。事故の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none">使用しない、または、修理をする場合は、電動工具本体のスイッチを切り、バッテリーパックを工具本体から抜いてください。刃物類の付属品を交換する場合は、電動工具本体のスイッチを切り、バッテリーパックを工具本体から抜いてください。その他、危険が予想される場合は、電動工具本体のスイッチを切り、バッテリーパックを工具本体から抜いてください。電動工具本体が作動して、思わぬ事故につながる恐れがあります。



注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">専用のバッテリーパック以外は使用しないでください。モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。故障の原因になります。雨の当たる場所や湿気が多い場所に保管しないでください。故障の原因になります。電動工具本体や充電器、バッテリーパックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。劣化や発煙、発火の恐れがあります。
 指示	<ul style="list-style-type: none">この取扱説明書および各商品サイトに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。使用前に、電動工具本体やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。電動工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。修理は、必ずお買い求めの販売店またはメーカーの相談と修理の窓口にお申し付けください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。



安全にお使いいただくために

コードレス電動工具の作業にかかる安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。• 夜間、悪天候時など、視界が良くないときは使用しないでください。重大なけがをする危険があります。• だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。• 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。• 破損した刃物類は使用しないでください。重大な事故の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。• 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、ゴム手袋、滑り止付安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。• 長い髪は、帽子、ヘルメットやヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。• 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。• 常識の範囲で使用してください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。• 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。• 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなり事故やけがの原因になります。• 電動工具にバッテリーパックを挿入する前に、スイッチが OFF になっていることを確認してください。スイッチが ON になっている状態でバッテリーパックを挿込むと、急に作動し事故の原因になります。• クランプや万力などを利用して加工物を固定してください。手での固定や固定が不十分な場合は、加工物が飛んだりズレたりし、けがや加工ミスの原因になります。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 高所作業をする場合、電動工具を落下させないでください。• スwitchに指をかけて運ばないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 安全に能率よく作業するために、電動工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。• 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。• 作業終了後は電動工具を注意深く手入れをしてください。• 安全に効率よく作業するために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

安全にお使いいただくために

バッテリーパック・充電器に係る安全事項



警告



禁止

- ・専用の充電器やバッテリーパック以外は使用しないでください。指定以外のものを使用すると、破裂する恐れがあります。
- ・バッテリーパックを分解しないでください。
- ・改造したバッテリーパック（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- ・バッテリーパックを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。端子の短絡により、やけどや火災の原因になります。
- ・使用時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しないでください。
- ・過酷な条件のもとでは、バッテリーパックから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。
- ・バッテリーパックの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーパックから漏れた液体は、炎症ややけどの恐れがあります。
- ・周囲温度が5℃未満、あるいは周囲温度が40℃以上ではバッテリーパックを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・バッテリーパックは一般家庭ゴミとして捨てないでください。ゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火、発煙し事故の原因になる恐れがあります。
- ・バッテリーパックを火中に投入しないでください。破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。
- ・充電器は、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・充電中、バッテリーパックや充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・濡れた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- ・充電器の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。



指示

- ・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。
- ・バッテリーパックの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。
- ・充電器を使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡して発火する恐れがあります。
- ・電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- ・本品はリチウムイオンバッテリーを使用しています。リサイクル可能な貴重な資源ですので、不要になった場合は下記に従いリサイクルを行ってください。
 - ・ご使用済みのバッテリーパックは、分解せずにそのまま最寄りのリサイクル協力店または、各自治体にご確認ください。
 - ・充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ <https://www.jbrc.com> を参照してください。



注意



禁止

- ・充電器の電源コードを持って充電器を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・充電器の電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



指示

- ・充電器の電源コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、短絡して発火する恐れがあります。
- ・充電器の電源コードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはメーカーにご相談ください。感電や、短絡して発火する恐れがあります。
- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



安全にお使いいただくために

振動ドライバドリルの使用上のご注意


コードレス電動工具全般の「安全にお使いいただくために」について、前項ではご説明しました。

ここでは、振動ドライバドリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 正逆切替ボタンが安全ロックの位置（中央）になっていない状態でトリガー（スイッチ）に指をかけて運んだり、触れたりしながらバッテリーパックを取付けないでください。事故の原因になります。• 使用中は、ビットやドリル（錐）などの回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。• 作業中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。近づけると、けがの原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。• 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。• 使用中は、工具本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。• 高所作業のときは、下に人がいないことを確認してください。材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。• 先端工具が完全に停止するまでは、ドライバドリルを床やテーブルなどに置かないでください。先端工具が回転していると、表面に引っ掛かり、電動工具が引っ張られることがあります。

注意

 指示	<ul style="list-style-type: none">• ビットやドリルなどや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。取付けがあまりと回転中に外れたり、ネジや加工材の破損に繋がります。• 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。• 穴あけ直後のドリル（錐）や切りくずは高温になっているので、触れないでください。やけどの原因になります。• 細径のビットやドリル（錐）は折れやすいのでご注意ください。飛散して、けがの原因になります。
--	---

主要諸元

モデル名	EP-DD-281	
定格電圧	18V	
モーター	ブラシレスモーター	
最大締付けトルク	80N・m	
トルク	トルク調整：20 段階 3 モード（ドライバモード/ドリルモード/ 打撃ドリルモード）	
チャックサイズ	Φ 13mm ※キーレスチャック	
無負荷回転数	低速モード	0-400min ⁻¹ （回転 / 分）
	高速モード	0-2,000min ⁻¹ （回転 / 分）
打撃数	30,000min ⁻¹ （回 / 分）	
穴あけ能力	木材	Φ 38mm
	金属・コンクリート	Φ 13mm
定格使用時間	約 30 分 ※ 1	
消費電力	450W	
三軸合成値	金属穴あけ時	1.77m/s ² K=1.5m/s ²
	振動ドリル時	12.93m/s ² K=1.5m/s ²
使用バッテリー	PLBP-018A 10 18V 2.0Ah（リチウムイオンバッテリー）	
使用充電器	PLCP-001A	
充電時間	約 60 分	
本体重量	1.29kg	
本体重量（バッテリー含む）	1.787kg	
サイズ（幅×奥行×高さ）	75 × 195 × 200mm	

※ 1 新品バッテリーパック（18V2.0Ah）を満充電にした場合。使用環境・状況やバッテリーの状態により変わります。

◎弊社は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

● 1 日の使用時間について

1 日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

① 10m/s ² より小さい場合		② 10m/s ² より大きい場合	
1 回の連続作業時間	10 分以内	1 回の連続作業時間	10 分以内
1 日の作業時間	2 時間以内	1 日の作業時間	T: 1 日の最大作業時間 T=200 ÷ (a × a) a: 周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値 (m/s ²)

● 製造時の振動レベル維持のため

- ・定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体 	B. 補助ハンドル 	C. ベルトフック 
F. ドリルビット (6本) 	D. バッテリ 18V 2.0Ah (2個) ★ 	E. 充電器★ 
	G. ショートビットヘッド (6本) 	H. ショートソケット (1本) 

※製造時期により部品の形状、内容物が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

★セット品のみ同梱となります。

各部の名称



準備

充電の仕方

お買い上げ時には満充電になっていないので、ご使用前に必ず充電をしてください。充電器・バッテリーパックの取扱説明書も併せてご覧ください。

1 充電器の電源プラグをコンセントに挿込むと、左側の赤ランプが点灯します。



2 充電器にバッテリーパックを挿込みます。



3 充電器の左側の赤ランプが2回点滅し、その後点灯に変わり、右側の緑ランプが点滅し充電が開始されます。



4 充電が完了すると赤ランプは消灯し、緑ランプは点灯に変わります。充電時間は周囲温度やバッテリーの状態(新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど)により変動します。

充電器の状態	赤ランプ	緑ランプ
コンセントに電源プラグを挿込む(スタンバイ)	点灯	消灯
充電中	点灯	点滅
充電完了	消灯	点灯
バッテリーを挿込む数秒間(フィットテスト)	点滅	消灯
異常	点滅	点滅
高温	点滅	消灯

⚠️ 注意

- 充電時間は、バッテリーの状態や温度等により異なります。
- 充電は、室温 5～39℃の範囲で行ってください。
- 充電中に、バッテリーパックや充電器が温かくなりますが異常ではありません。
- 本機使用後は、速やかに充電を行ってください。
- 長期間(3ヵ月以上)充電せずに放置しないでください。

5 充電が終わりましたら、バッテリーパックを真っ直ぐに引抜きます。



6 念のため、満充電になっているかバッテリーパックのインジケータを確認します。ボタンを押して、ランプが4つ点灯すれば満充電です。



組立て

ベルトフックの取付け

ベルトフックは左右どちら側にも取付け可能です。



バッテリーパックを抜いた状態で取付けを行ってください。

- 1 本体の溝部にベルトフックを挿込みます。



- 2 ネジを取付け、プラスのドライバで締め付けます。



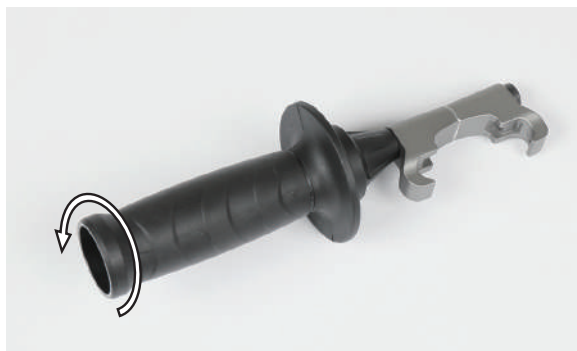
ベルトフックを取付ける際は、ネジを確実に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分だと、フックが外れ、事故の原因になります。

補助ハンドルの取付け・取外し



- バッテリーパックを抜いた状態で取付けを行ってください。
- 補助ハンドルの取付けは確実に行ってください。取付けが不十分だと、作業中に外れて怪我の恐れがあります。

- 1 補助ハンドルのグリップ部分を反時計回りに回し、ツメ部分を広げます。



- 2 本体の突起に補助ハンドルのツメ部分を合わせ、グリップ部分を時計回りに回し締め付けます。



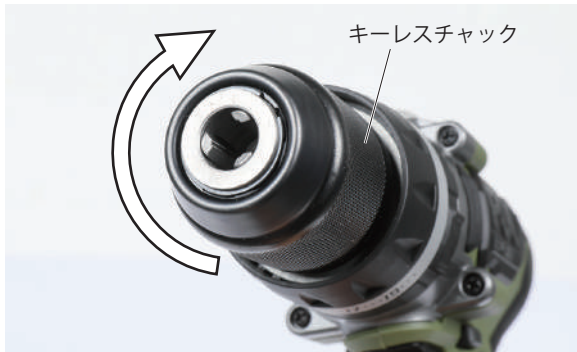
組立て

先端工具の取付け・取外し



- バッテリパックを抜いた状態で取付け・取外しを行ってください。
- 先端工具の取扱いには十分ご注意ください。怪我の恐れがあります。

- 1** キーレスチャックのツメが引っ込んでいる場合は、キーレスチャックを時計回りに回すとツメが出てきます。



- 2** 先端工具の軸の太さより少し広くキーレスチャックのツメを開き、先端工具をキーレスチャックの奥まで挿込みます。



- 3** キーレスチャックを時計回りに回し、キーレスチャックのツメを閉じ先端工具を固定をします。



- 4** 取外しは、キーレスチャックを反時計回りに回しツメを緩めます。

取扱い

バッテリーパックの取付け / 取外し

■取付け



警告

トリガー（スイッチ）に指をかけないでください。

- 1 満充電にしたバッテリーパックを、バッテリーホルダに「カチッ」と音がするまで挿入します。



■取外し

- 1 バッテリーパックのリリースボタンを押しながら引抜きます。



トリガー（スイッチ）の操作

スイッチはトリガ（引金）方式です。トリガを引くとスイッチが入り、放すと切れます。引込み加減で、回転数を調節できます。



LED ライト

本機にはビットの先端を照らすための LED ライトが付いています。

- 1 バッテリーパック挿入時にトリガを引くと点灯し、放すと消えます。



⚠ 注意

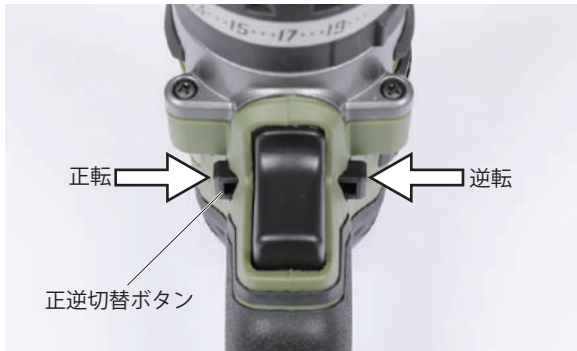
- LED ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。
- ライトレンズ部に傷がつかないようにご注意ください。明るさが低下する原因になります。

取扱い

正転・逆転の切替え

トリガー（スイッチ）部の正逆切替ボタンを操作して回転方向を切替えることができます。

- 1 先端部は、正逆切替ボタンを写真の正転の矢印方向に押しすと正転、逆転の矢印方向に押しすと逆転になります。



- 2 中央では安全ロックとなり、スイッチは入りません。保管、輸送、ビットの交換時には正逆切替ボタンを中央の位置にしてください。

⚠ 注意

正逆切替ボタンは、モーターの回転が完全に止まった状態で操作してください。

回転数の切替え

用途に応じて回転数を高速モード、低速モードの2段階に切替えることができます。

- 1 回転数を切替える場合は、本体上部の回転数切替レバーをスライドさせてください。

低速モード…… 1が見える状態

高速モード…… 2が見える状態

回転数切替レバー	回転速度	トルク	適性作業
1	低速	強い	負荷の高い作業
2	高速	弱い	負荷の低い作業



⚠ 注意

- 回転数切替レバーは、モーターの回転が完全に止まった状態で操作してください。回転中に切替えると故障の原因になります。
- 木材に大径の穴あけをする場合は、低速モードで使用してください。
- 高速モード“2”で作業中に回転が著しく低下する場合は、作業を中断し、回転が停止した後で低速モード“1”に切替えてください。そのまま使用を続けた場合、モーターの焼損の恐れがあります。

取扱い

作業モードの切替え

用途に応じて作業モードを切替えることができます。

1 作業モードを切替える場合は、作業モード切替リングを三角マーク(▲)合わせてください。

■ ドライバモード(🔩)

■ ドリルモード(🔩) …… 木材・金属などの穴あけ

■ 打撃ドリルモード(🔨) …… コンクリート・レンガなどの穴あけ



⚠️ 注意

- 電動工具本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、作業モード切替リングを回してください。
- トリガー（スイッチ）を引込んでいるときに作業モード切替リングを回さないでください。
- 逆転時に作業モード切替リングを（打撃）にしないでください。
- マークの中間部分では使用しないでください。故障の原因になります。

トルクの調整

ドライバモード時にトルクを調整することができます。設定したトルクに達した時点でクラッチが作動し、先端工具の回転が停止します。これにより、すべてのネジを均一なトルクで締付けることができます。

1 最適トルクになるように、三角マーク(▲)にトルク調整リングの数字(1・3・5・7・11・15・17・19)または黒丸目盛りを合わせてください。数字が大きくなると、締付けトルクが大きくなります。

目盛	1・3・5・7・9・11・13・15・17・19・
作業目安	← 柔らかい木材 硬い木材 →



⚠️ 注意

トルク調整は、モーターの回転が完全に止まった状態で操作してください。

2 実際に使用する前に、使用する材料または類似材料に低いトルクから順に高いトルクに調整し、最適トルクを決定してください。



操作の仕方

警告

- 正逆切替ボタンが安全ロックの位置（中央）になっていない状態でトリガーに指をかけて運んだり、触れたり、バッテリーパックを取付けたりしないでください。事故の原因になります。
- 使用中は、ビットやドリル（錐）などの回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- 作業中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。近づけると、けがの原因になります。

注意

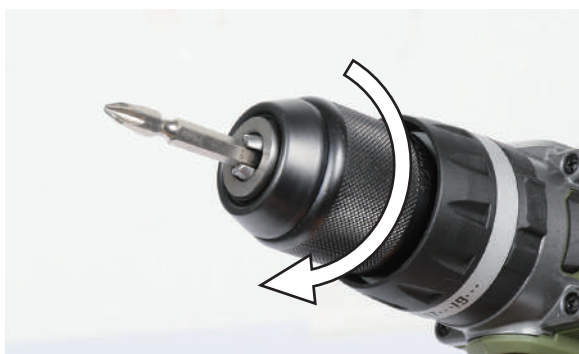
- 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- 穴あけ直後のドリル（錐）や切りくずは高温になっているので、触れないでください。やけどの原因になります。
- 細径のビットやドリル（錐）は折れやすいのでご注意ください。飛散して、けがの原因になります。
- 作業中に先端工具が材料に挟まれたり、食い込んだりしたときは、トリガーを切ってください。先端工具が挟まれたり、食い込んだまま作業を続けると、反発（キックバック）の起こる可能性があり、大変危険です。

ネジ締め作業

注意

- ネジサイズに合ったドライバビットを使用してください。サイズの異なったビットを使用するとネジ穴を潰したり、十分なネジ締めができません。
- 硬い材料に大きなネジや長いネジを締めるときは、あらかじめ下穴をあけると割れを防ぎます。

- 1 ネジサイズに合ったドライバビットをキーレスチャックに取付けます。



- 2 作業モードを「ドライバモード」します。



- 3 正逆切替ボタンを正転にします。



- 4 回転数切替レバーを「1」または「2」にします。



- 5 トルク調整リングで適正トルクにします。



操作の仕方

6 バッテリパックを挿込みます。



7 ネジの頭の溝にビットを合わせてトリガー（スイッチ）を少しずつ引きながら、ビットがネジの頭から外れない程度の力で押付けます。



8 クラッチが作動したらトリガーを戻します。



9 ネジを緩めたり取外す場合は、正逆切替ボタンを逆転にします。



連続作業について

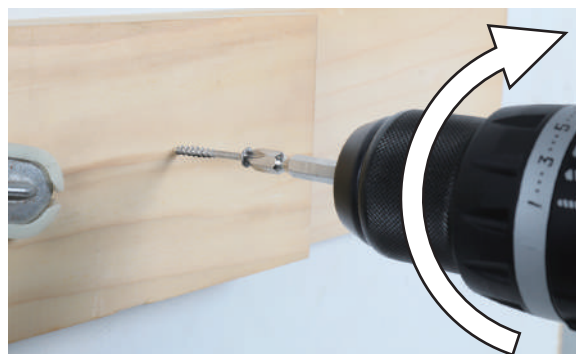
予備のバッテリーパックを使用して連続作業する場合は、本機を 15 分以上休ませてください。

手締め作業

⚠ 注意

手締めによる過度の締めつけは、ネジを傷めますので注意してください。

1 トリガーを放した状態で、ネジの頭の溝にビットを合わせて手締めをします。



操作の仕方

木材の穴あけ作業



警告

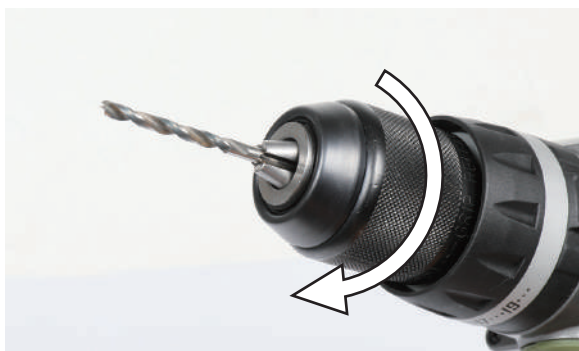
作業中、本機が振回されることがあります。使用中は、本体をしっかり保持してください。



注意

クランプや万力などを利用して加工物を固定してください。手での固定や固定が不十分な場合は、加工物が飛んだりズレたりし、けがや加工ミスの原因になります。

- 1** 穴あけに合ったドリルビットをキーレスチャックに取付けます。



- 2** 作業モードを「ドリルモード」します。



- 3** 正逆切替ボタンを正転にします。



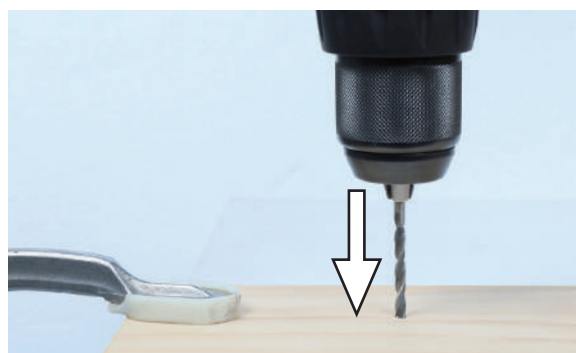
- 4** 回転数切替レバーを "1" または "2" にします。



- 5** バッテリーパックを挿入します。



- 6** 材料の穴あけ位置にドリル先端を合わせてトリガー（スイッチ）を少しずつ引きながら、垂直に押付けます。



注意

- 強く押しても穴は早くあきません。
- 強く押しすぎるとドリルビットが折れますのでご注意ください。

- 7** 穴があいたら、トリガーを引いたまま抜きます。ドリルビットが抜けなくなった場合は、正逆切替レバーを逆転にし、トリガーを引くと抜けます。

操作の仕方

👉きれいな穴あけの仕方

■捨板を下に敷く

裏側に不要な捨板を当てて、一緒に穴をあけると裏側もきれいに仕上がります。



金属の穴あけ作業

⚠️注意

- 鉄用ドリルビットを使用してください。
- 金属の穴あけの場合は、ドリルの切れ味と耐久性を維持するため市販品の切削油（切削オイル、ギヤオイル、ミシン油など）の使用をお勧めします。

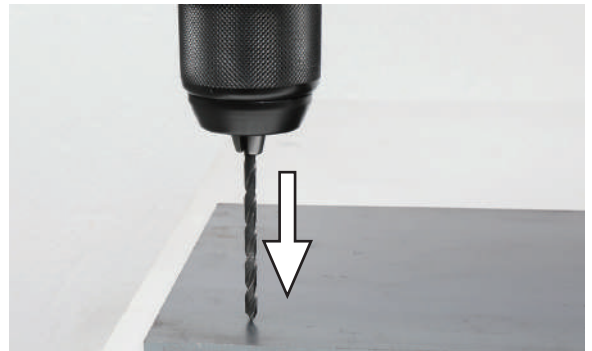
1 穴あけに合ったドリルビットをキーレスチャックに取付けます。



2 木材の穴あけ作業の手順2～5までは同じです。

3 材料の穴あけ位置にセンターポンチ（市販品）を打ち窪みをつけると、ドリルの先が滑らずに正確な位置に穴をあけることができます。

4 材料の穴あけ位置にドリル先端を合わせてトリガー（スイッチ）を少しずつ引きながら、垂直に押付けます。



コンクリートなどの穴あけ作業

⚠️注意

- 振動用ドリルビットを使用してください。
- 強く押しても穴は早くあきません。
- コンクリートの穴あけは、ドリルビットが石や鉄筋に当たると穴があかない場合があります。

1 穴あけに合ったドリルビットをキーレスチャックに取付けます。

2 作業モードを「打撃ドリルモード」します。



3 木材の穴あけ作業の手順3～5までは同じです。

4 材料の穴あけ位置にドリル先端を合わせてトリガー（スイッチ）を少しずつ引きながら、垂直に押付けます。

5 ある程度穴があいたら、ドリルを回転させながら2～3回出し入れさせることで粉塵を排出させることができます。

操作の仕方

作業の終了

- 1 リリースボタンを押しながらバッテリーパックを引抜きます。



- 2 ドリルビットや本体等に付着した木くず・金属カス等を取除きます。

- 3 本体や補助ハンドルなどが汚れた場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

- 4 バッテリーパックを満充電にします。



- 5 長期間使用しない場合でも、3ヵ月に1回はバッテリーパックを充電してから保管してください。

- 6 子供の手の届かない安全で、乾燥した場所に保管してください。

お手入れの仕方

お手入れ



警告

必ずバッテリーパックを取外してからお手入れを行ってください。



注意

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤、アルコールなどは使用しないでください。変色やひび割れの原因になります。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因になります。

1 本体やビットに付いた油污れなどを拭取り、乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布で本体を拭いてください。次回気持ちよく使用できるように毎回お手入れをしてください。

2 ネジなどの緩みがないか確認をしてください。もし、緩みがある場合は締直してください。



注意

- 水洗いは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- プラスチック製部品やハンドルの清掃には、強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。
- アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。
- ビットをお手入れする場合は、必ず手袋を着用してください。

保管



注意

- 雨の当たる場所や湿気の多い場所は保管しないでください。
- 子供の手の届くところには保管しないでください。
- バッテリーパックを装着したまま保管しないでください。
- 電動工具本体や充電器、バッテリーパックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。劣化や発煙、発火の恐れがあります

1 保管する前に本機のお手入れをします。

2 本機を保管する時は、モーターが熱くなっていないことを確認します。



3 バッテリーパックを取外します。

4 取外したバッテリーパックは満充電にします。バッテリーは自然放電をしますので、長期間使用しない場合でも、3カ月に1回は充電をしてください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対処
トリガーを引いても動作しない	バッテリーが消耗している	充電をする
	バッテリーパックがしっかり挿込まれていない	「カチッ」と鳴るまでしっかり挿込む
	モーターの過熱により保護装置が働いている	温度が下がってから電源を入れ直す
作業をすると停止する	バッテリーが消耗している	充電をする
	バッテリーパックまたは本体が熱くなっている	約 10 分間冷却する
トリガーが引けない	正逆切替ボタンが安全ロックの位置(中央) になっている	ボタンを左右どちらかに押し込む
穴があかない・時間がかかる	先端工具が摩耗している	先端工具を交換する
	バッテリーが消耗している	充電をする
	正逆切替ボタンが逆転になっている	正転にする

消耗品・部品一覧

商品名		商品コード	
補助ハンドル		ep-pt-DD001n	
バッテリーパック	18V 2.0Ah	plbp-018a1018v	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

本規約は、リブラス(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはメールにて弊社へご連絡ください。症状・使用状況を伺いし、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。